

ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校 学校関係者評価委員会は、2020年2月26日に「2018年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価委員会を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

2020年3月31日

学校法人山口学園
ECCアーティスト美容専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員(「ECCアーティスト専門学校 学校評価実施規定」選出区分)

【関連業界等関係者「同第12条第1項(1)」】

委員長

永倉 瑞江 氏 (一般社団法人JMA 取締役 検定事業本部本部長)

宮崎 裕輔 氏 (株式会社クラフトワークス 人材開発部)

【卒業生「第12条第1項(2)」】

高野 圭梨 氏 (ECCアーティスト美容専門学校卒業生)

【保護者または地域関係者「第12条第1項(3)」】

中上 隆雄 氏 (済美地域社会福祉協議会 会長)

【その他校長が必要と認める者「第12条第1項(4)」】

中井万佐彦 氏 (資生堂プロフェッショナル株式会社 営業部部長)

貴治 康夫 氏 (立命館高等学校)

【ECCアーティスト美容専門学校 学校長】

中村 竜二

【同席者】

辻浦 誠司 ECCアーティスト美容専門学校 副校長

三木 武志 学校法人山口学園 自己点検評価室

兼田 寛子 ECCアーティスト美容専門学校 進路指導課

北口 博一 ECCアーティスト美容専門学校 入試課

井上 久美 ECCアーティスト美容専門学校 美容科 講師

西村 宗博 ECCアーティスト美容専門学校 教務課

開会の挨拶等を辻浦が誘導 → その後進行を宮崎氏に

中村

お忙しい中ありがとうございます。いろいろな角度からお話をお聞きしたい
コロナウィルス対策についても各企業様の対応も聞きたい。

<初参加>

資生堂プロフェッショナル 中井氏

前任者から引き継いだのでよろしく願いいたします。

いろいろな角度からお話して参考にさせていただきたいし、また自信が勉強になることもあると思いますのでよろしく
お願いいたします。

1. 前回の学校関係者評価委員会(平成30年度自己評価報告書の内容)での主要課題等に関する確認/討議

1)DP(ディプロマ ポリシー)、CP(カリキュラム ポリシー)の説明を学生にどう徹底するか

→ 4月のオリエンでの徹底

(新入生 → 入学式でも)

聞きたい点:その他対応策があるか

辻浦

HANDBOOK から各コースの DP/CP の説明

■ECC アーティスト美容専門学校 ディプロマポリシー■

ECC アーティスト美容専門学校は、山口学園の理念・本校の教育目的および教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された検定試験、作品製作に関して合格または科目を修得した学生に対して、卒業を認定する。

■ECC アーティスト美容専門学校 カリキュラムポリシー■

ECC アーティスト美容専門学校では、山口学園の理念・本校の教育目的および教育目標に基づき、美容業界が求める人材像等も踏まえながらカリキュラムを編成する。そして、業界で長く広く活躍する人材になるために、以下の3つの力を養う。

『専門力』

1 年次から専門技術に特化したカリキュラムを設定し、業界最先端のスキルに加え、問題解決力や広い視野、トレンドを察知する能力を養う。

企業等と連携して、最新の知識、技術、技能を身に付けられる実践的な職業教育に取り組む。

『人間力』

チーム制作やグループ活動、サービスラーニング、インターンシップ、サロンワーク実習等を通じて、協調性、責任感、問題解決力、リーダーシップ、ホスピタリティー、接客力を養う。

『国際力』

全コースで必須の英会話授業、ECC International Plaza(EIP)、海外研修への参加などを通じて、グローバル化に対応できる力を養うと同時に、学園内における留学生との協働を通じて多様性を学ぶ。

■トータルビューティスタイリストコース■

【教育目標】

ヘアメイクアーティスト、美容師、ネイリスト、アイリスト、ファッションアドバイザーになるため、各専門力をバランスよく習得すると共に、海外からのお客様に物応じすることなく接客できる国際力を習得し、将来的に多方面で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・業界関連分野資格である「美容師国家資格」を取得している。(専門力)
- ・業界関連分野資格である「JNEC ネイリスト技能検定 2 級」を取得している。(専門力)
- ・業界関連分野資格である「国際アイラッシュ協会検定2級」を取得している。(専門力)
- ・作品撮影(ブック製作/プレゼンテーション)が学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・サロン・美容現場において英会話で接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

美容技術者としての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・クレンジングからフルメイクまでのメイクアップ基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・ヘアアレンジの基礎を習得し、作品イメージに合ったヘアスタイルができるようになる。(1 年次)
- ・ネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ等の基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・色彩学、デッサン、ファッションの基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・顔分析法によるメイク技術、年代別・シチュエーション別メイク等の応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・スカルチュアの応用、ジェルネイル、エアブラシ等のネイル技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・デジタルデザインの応用技術・知識を修得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)
- ・ヘアメイク、ファッションの応用技術であるトータルスタイリングに関する技法を習得する。(3 年次)
- ・ジェルネイルの中級・上級技術を習得する。(3 年次)
- ・アイラッシュ技術を習得する。(3 年次)
- ・サロン・美容現場において英会話で接客できる技術を習得する。(3 年次)

■ヘアメイクアーティストコース■

【教育目標】

メイクに関する幅広い職種に対応できる知識と技術力を備え、国内外で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・作品撮影(ブック製作/プレゼンテーション)が学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・インターンシップにおいて学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・美容現場において英会話で接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

美容技術者としての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・クレンジングからフルメイクまでのメイクアップ基礎技術・知識を修得する。(1 年次)
- ・ブラッシング・ピン止め～夜会巻き・カールアップ・日本髪等のヘアアレンジの基礎を習得する。(1 年次)
- ・照明やカメラについて撮影に関する基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・アーティストックメイク、ブライダルメイク等のメイク応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・トータルアレンジ、フィンガーワーク等のヘアアレンジ応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・着付けの基礎技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・専攻に合わせたヘアメイクの高度技術・知識を習得する。(3 年次)
- ・着付けプロレベルとしての応用技術・知識を習得する。(3 年次)
- ・美容現場において英会話で接客できる技術を習得する。(3 年次)
- ・美容師国家資格取得に必要な技術・知識を習得する。(1～3 年次)

■ビューティアドバイザーコース■

【教育目標】

化粧品知識・販売技術(英語を含む)を修得すると共に、コミュニケーション能力(マナー、度胸)に優れた一流の

ビューティアドバイザーを育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・TBA(メイク技術・接客技術・筆記)試験において学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・一般常識テストにおいて学内合格水準を満たすこと。(人間力)
- ・百貨店化粧品販売現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

ビューティアドバイザーとしての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・クレンジングからフルメイクまでのメイクアップ基礎技術・知識を習得する。(1年次)
- ・イメージメイク・年代別メイクの基礎技術・知識を習得する。(1年次)
- ・綺麗な立ち居振る舞い、接客用語等の接客に関わる基礎技術・知識を修得する。(1年次)
- ・色彩学、パーソナルカラー等色彩に関わる基礎技術・知識を修得する。(1年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1年次)
- ・接客を交えたメイク技法、アンチエイジングメイク技法、セラピーメイク等のメイク応用技術・知識を習得する。(2年次)
- ・コスメ販売の技術・知識をケーススタディにより習得する。(2年次)
- ・プレゼンテーションに関わる技術・知識を習得する。(2年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容部員の業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2年次)

■ネイルコース■

【教育目標】

ネイルの幅広い知識と技術を習得しネイル関連検定を取得すると共に、あらゆる年齢層の顧客ともコミュニケーション・接客ができる素直で元気ある人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された検定試験・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・ネイル系検定「JNEC ネイリスト技能検定 1 級」を取得している。(専門力)
- ・ネイル系検定「JNA ジェルネイル上級」を取得している。(専門力)
- ・ネイル系検定「衛生管理士」を取得している。(専門力)
- ・「サロン実習」での接客技術が合格水準を満たしている。(人間力)
- ・ネイルサロン現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

ネイリストとしての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・ネイル理論を修得し、ネイル技術の基礎となるネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を習得し、ネイル検定 3 級・2 級の取得を目指す。(1年次)
- ・ジェルネイルの基礎を修得し、ジェルネイル検定初級を取得する。(1年次)
- ・2年次でのサロンワーク実習に向けて、サロンで必要となる実践技術、知識を習得する。(1年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1年次)
- ・フレンチスカルプチュアの技術修得し、ネイル検定 1 級を目指す。(2年次)
- ・ジェルネイルの上級技術を修得し、ジェルネイル検定上級を取得する。(2年次)
- ・学内サロンにて実践的なネイル技術・サロンワーク・接客技術を修得する(2年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、ネイルサロンで使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2年次)

■エステティシャンコース■

【教育目標】

エステ協会の上級の資格ならびに関連分野の資格を取得することにより幅広い知識と技術を保有する施術者を目指すと共に、エステティシャンとして美しく、健康的に、長く活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・エステ協会資格であるアジュステの上級を取得している。(専門力)
- ・エステ関連分野資格であるアロマコーディネーター資格を取得している。(専門力)
- ・エステ関連分野資格であるアロマヘッドトリートメント資格を取得している。(専門力)
- ・美容関連分野資格である JNEC ネイリスト技能検定 3 級を取得している。(専門力)
- ・「学内エステサロンでの実習」内で接客技術が合格水準を満たしている。(人間力)
- ・エステサロン現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

エステティシャンとしての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・日本エステティック協会に基づくフェイシャルエステティック/ボディエステティックの基礎知識・技術を習得する(1 年次)
- ・日本エステティック協会に基づくエステティック概論、関連法規、皮膚科学、栄養学、化粧品学等を習得し、エステティック知識の基礎を確立する。(1 年次)
- ・サロンワーク技術の基礎を実習授業内で修得し、学内サロンでの実習に備える。(1 年次)
- ・アロマセラピーに関する知識、技術習得し、JAA アロマコーディネーター資格取得を目指す。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・日本エステティック協会に基づくフェイシャルエステティック/ボディエステティックの応用知識・技術を習得する(2 年次)
- ・日本エステティック協会に基づく解剖生理学、施術関連知識・技術等を習得し、アジュステの上級を取得する。(2 年次)
- ・学内サロンにて実践的なエステ技術・サロンワーク・接客技術を習得する(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、エステサロンで使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)
- ・エステサロンに来店されるシニア世代のお客様にも安心してお受け頂けるビューティケアの技術・知識を習得し、シニア検定とビューティケアセラピスト検定を取得する。(2 年次)

■ブライダル・ウェディングコース

【教育目標】

ブライダル系の国家資格であるブライダルコーディネーター技能資格3級を取得する知識・技術を修得すると共に、ブライダル全般に及ぶ幅広い知識(プランニング、コスチューム、ヘアメイク、空間コーディネート)と技術を兼ね備え、入社後即戦力となる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・国家資格ブライダルコーディネーター技能検定3級を取得する。(専門力)
- ・ブライダル実践イベントである「スマイルウェディング」学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・ブライダル実践イベントである「ハートフェルトウェディング」学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・外部研修授業である「インターンシップ」において学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・ブライダル現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

ブライダル技術者としての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・ブライダルプランナーとしての基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・ブライダルコスチュームの基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・ブライダルメイクの基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・ブライダルプランナーとしての応用技術・知識を習得し、3級ブライダルコーディネーター技能検定を取得する。(2 年次)
- ・ブライダルコスチュームの応用技術・知識を修得する。(2 年次)
- ・ブライダルメイクの応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、ブライダル業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得

する。(2年次)

■特殊メイクアーティストコース■

【教育目標】

特殊メイク業界、造形業界で即戦力となる知識・技術を習得し、国内外で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

・提携企業であるシャイニーアートによる筆記及び作品/プレゼンテーションの卒業試験で学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)

・特殊メイク業界で使用する英会話定型フレーズを用いてコミュニケーションできる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

特殊メイク技術者としての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

・特殊メイクの基礎となるキャラクターメイク技法・顔の型取り・マスクメイク・エアブラシでのペイント等の技術・知識を修得する。(1年次)

・色彩学、デッサン、デザイン学の基礎技術・知識を習得する。(1年次)

・フォトショップでの基本的なデジタルデザイン技術・知識を習得する。(1年次)

・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1年次)

・シリコン素材による特殊メイク知識・技術を習得する。(2年次)

・フィギュア製作の技術・知識を習得する。(2年次)

・デジタルデザインの応用技術・知識を習得する。(2年次)

・グローバル社会に対応すべく、特殊メイク業界で使用する英会話定型フレーズを用いてコミュニケーションできる技術を習得する。(2年次)

■特殊造形クリエイターコース(プロ専科)■

【教育目標】

特殊メイク業界、造形業界で即戦力となる知識・技術を習得し、国内外で活躍できる人材を育成すると共にマルチに様々な依頼に対応できる作品を制作できる人物を養成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

・提携企業であるシャイニーアートによる筆記及び作品/プレゼンテーションのプロ専科卒業試験で学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)

・特殊メイク業界において英会話でコミュニケーションできる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

特殊メイク技術者として高い専門力と人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

・モンスタースーツ、カポックプロダクツ、エピテーゼ、スモールスケールメカニカル等の特殊メイクに関する応用技術・知識を習得する。

・フィギュアの原型から商品までの知識・技術を習得する。

・特殊メイク業界において英会話でコミュニケーションできる技術を習得する。

■美容科■

【教育目標】

美容師国家資格を取得する知識・技術を修得すると共に、美容室でのサロンワーク・接客技術を理解した自ら動ける・考えられる能動的な人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

・美容師国家試験に準じる学内卒業試験(実技、学科)に合格する。(専門力)

・学内美容サロンアンベリールで実施する「アシスタント実習」での接客技術が合格水準を満たすこと。(人間力)

・美容サロン現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

美容師としての専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・美容師国家試験の実技試験に準拠した基礎技術を習得する。(1年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1年次)
- ・美容師国家試験の実技試験に合格できる技術を習得する。(2年次)
- ・美容師国家試験の学科試験に合格できる知識を習得する。(2年次)
- ・校内サロンにて実践的な美容サロンワーク・アシスタント業務・接客技術を習得する(2年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容サロンで使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2年次)

■トップスタイリストコース(プロ専科)■

【教育目標】

美容師資格を保有した上で、最短スタイリストデビューを可能とする即戦力技術を持つ人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

- ・(実技、学科)に合格する。(専門力)
- ・校内美容サロンアンベリールで100人以上のカット/カラー/シャンプーの実務経験を経ること。(専門力/人間力)
- ・サロンワーク卒業試験(外部からの試験官の意見も反映)にて学内合格水準を満たすこと。(専門力/人間力)
- ・美容サロン現場において英会話で接客できる。(国際力)

【カリキュラムポリシー】

美容師として即戦力となる専門力・人間力・国際力を兼ね備えた人材を育成するため、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・校内美容サロンアンベリールで100人以上のカット/カラー/シャンプーの施術を行う。
- ・サロン経営に関する知識・技術を習得する。
- ・インターンシップにより外部美容サロンでのアシスタント経験を積む。
- ・美容サロン現場において英会話で接客できる技術を習得する。

辻浦

DP/CPにつきましては、入学式での告知 保護者も多く参加されるので告知している。
年2回の保護者会でも周知しているがなかなか徹底できていない。

貴治氏

立命館高校では、年に2回保護者懇談会を行っている。
教員と生徒及び保護者とは綿密に連絡を取っている。
身近な存在と意識づけることが大切。

中村

ご家族と共に教育していきたいがなかなか難しい状況である。
保護者会の出席率は5割切っている。

貴治氏

保護者が参加できない場合は家庭訪問する。
入学前の学生は事前に面談を行うこともある。進級学生は担任が変わる場合に
申し送りをしている。

辻浦

家庭訪問は全員おこなっているのか？

貴治氏

家庭訪問は小学校ではないので全員はしていない。来校されない保護者のみ対象。

宮崎氏

サロンでは書面を渡して保護者に育成方針を確認してもらうようにしている。

各店の店長が初めの半年ぐらいは3回くらい確認している。

保護者ときてもらう。保護者に納得してもらうことが大事。

形にするようにしている。一時期はどうにもならない時があったが書面で確認が大事である。

2)教育無償化の申請の結果は

→ 承認済

聞きたい点:高校での受け止め方、反響等

中村

現時点で12名程の申請があった。300名の入学者のうちもう少し増える可能を感じている。

認可を受けている学校というのは安心感にはつながると思う。

辻浦

高校の方での受け止め方は秋の発表から比較してどうか？

貴治氏

現任校は、それほど経済的に厳しい学生はいない。

前任校は、厳しい学生は多かったが現状はわからない。

辻浦

一般的な認知度はどうか？

永倉氏

取引している学校はほとんど申請しているが、学校のことしかわからない。

高野氏

NEWS になっていたのを知っているが基準が厳しいので受けられない学生が多いのではないかと。周りの認知度は低い。

貴治氏

高校では、詳細を説明している。

中村

美容業界の給与は改善してきているが厳しい状況である。奨学金を借りている学生が多いので改善するのをお願いしている。

3) iPad を導入し、それを広げようとしているとのことであったがその後の状況は

英会話授業から開始済み → 1年生全員に配布導入に向けて進行中

聞きたい点:活用法、注意点

西村

英語で導入

英語でスクリプトを作りライティングソフトを使用し発音を確認・修正してグループで動画を作成する。回数はセミナー15回で2回行っている。

中村

サロンではどう活用されているか？

高野氏

サロンで使用している。産休明けからかなり使っている。資料でカラープリントを大量にしているインスタが中心になってきた。インスタで美容技術の講習もある。サブスクリプションの講習もある。これからはiPadが必要になる。

宮崎氏

iPadを導入した理由は？ペーパーレスなのかビジュアルに対しての能力を高めるのが目的なのか？

中村

英語の授業が楽しい興味があると入学してくるが寝ている学生がいたり厳しい状況であった。そこで英語の授業での導入を行った。電子媒体などでも活用しやすい。

貴治氏

立命館守山は全員に配布。学習効率が良い。学生は非常にうまくこなしている。こなせるかこなせないかで進路先や将来が変わってくる。

中村

色彩の先生なども資料印刷をカラーコピーでしていたがそのあたりがボタン一つでできるようになるのは学生の知識の定着率もあがるし、講師の先生方の効率化も図れる。

中井氏

資生堂美容室は導入済み、専用アプリで行う。お客様と技術者のカウンセリングに使用。また、講習の効率化をはかるのにも導入している。e-learningで働き方改革にも対応している。新商品のイメージを伝えるのにも使用している。

辻浦

導入初年度で不安もあるがなんとかしたい。

4) 今期の学生アンケートの結果はどうか

年間2回 → 4回の定着 → フィードバックが課題

主要内容報告

聞きたい点: 確認中(多数あり)

辻浦

授業満足度 16・17・18年度と上げてきたが19年度4.14と少し下げた。

担任満足度 4.25、イベント満足度 4.11 美容科の学科及び英語が厳しい。一般教養なども厳しい数字になっている。iPadなど使用してあげていきたい。

担任満足度は連絡が遅いというのがあるが学校アプリで改善してきているが連絡を速度・精度は上げていきたい。

施設設備ではロッカーの狭さとエレベーターが少ないので厳しい。

設備は改善が厳しい。

宮崎氏

連絡が遅いのはなぜそうなるのか？

井上

担任も授業があるので遅いが学校アプリは大きい。

貴治氏

具体的に担任満足度が低いのに授業満足度が高かったり、その逆であったり数字の持つ意味をしっかりと分析するのが大事。

コメントは複数でているのか？

辻浦

出ている。

宮崎氏

授業が分かりにくいという学生がいるということだが直接聞く項目がないようだ。
直接聞く機会があるのが大事と思われる。

貴治氏

高校は記名式だがそれでも不満を書く学生がいる。しかしそれをきっかけに面談や指導ができる良さもある。

5)実践行動学を導入したとの説明あったが、その結果と来期はどうするのか

→結果と来期の方向性を説明

聞きたい点:学生のモチベーション UP の方策等

辻浦

新潟の専門学校グループ NSG グループから導入

退学率が2-3%

テキストがあり、3つのパートがある。

意欲的な心構え、自分の可能性を広げよう、社会人の心構え

6時間・6時間・3時間の時間で行う。

教員の中からファシリテーターを募って教える。井上がその中の一人である。

4月に参加率95.3% この授業はあなたにとってどうでしたか?5点満点で4.06

受けてみて変化があったか。2点満点で1.96 9月の参加率は下がったがアンケートは点数が上がった。3月はまだ集計を取っていない。

来年度は行わない。

貴治氏

成績はつけるのか?

辻浦

特別単位を付与する。

6)学校アプリを今年度導入したがその結果は

→ 順調に拡大していることを説明

西村

掲示板アプリで今年度より導入している。担任からの連絡漏れがすくなくなった
教務課だけだったが今は進路課も使用している。課題は見てない学生への周知。

7)コンテスト、検定結果は

→ 結果の報告

中村

コンテスト

IMATS は今年度は中止となった。。

アジアネイルフェスティバル 全日本理美容選手権で団体戦優勝

Head Art Akashi 優勝 プロ・アマオープン戦であるので価値が高い。

ヘアメイクの選手権でも優勝、副賞はロンドンコレクションに参加。

検定試験は、厳しいものもあれば、全国平均を大きく上回る成果がでているものもある。

宮崎氏

ネイルの成果が目覚ましい。

中村
ネイルだけで2年間のコースは全国でも少数である。
全員に1級を取らせるカリキュラムになっており鍛えている。

宮崎氏
検定料は高いのでは？

中村
確かに高いが検定は最上級のものを取らせたい。

8)今年度の就職状況は
→ 状況の報告

兼田
268名中 内定者 256名 95.5%
未内定者 12名
まだ、2名は活動中だが残り10名は厳しい状況
特殊メイクコースの2年が厳しい。

他のコースは業界就職率も100%

宮崎氏
残りの10名はどのような学生が多いのか？

中村
特殊メイクは趣味の延長ではこまるので就職をどのようにさせていくのが課題。

兼田
進路先の職種が多種多様で趣向性が高いのでなかなか絞れない。

貴治氏
特殊メイクは海外で活躍する日本人がいるが、海外に進む学生はいないのか？

兼田
それを視野に入れて検討していきたい。

中村
徒弟制度がまだまだ残る業界になるのでなかなか厳しいのが現状だが。

8)今年度の学生募集状況は
→ 状況の報告

北口
日本人 302名 留学生 1名の 303名入学予定。
昨年度より10名の増加
出願からは8名の辞退者

来校層が変わってきているのはアンケートで感じてきている。

10)防災体制を強化したいとの話であったが状況は
→ 競争制等は未着手

辻浦

競争制等は未着手のまま来年度に持ち越している。

10) 退学抑制効果は今期みられたか

→ 状況の報告

聞きたい点:改善策 → このまま下記の2020年度のテーマに入る可能性あり

辻浦

進級率は83%~84%、卒業年次生は95%以上。

例年より厳しい状況、授業満足度を上げていきたい。

担任のフォローだけでは限界があり、授業の満足度や能力をあげていくのが大事である。

中村

規模は大きくなっているが授業の質を上げていくのが大事である。

SNSでの発信があるので良い授業を行うのが大事。

2. その他

コロナウィルス対策等

中井氏

8000名がテレワークになった。出勤する従業員も交代制出張も制限している。車の移動をできるだけ推奨している。イベント・セミナーも自粛している。

宮崎氏

お客様に手指消毒、技術者はマスク着用。

永倉氏

検定は実施したが消毒の徹底、マスクを可とした。大阪はマスク着用者がすくなく危機感が低いのではないかと感じた。

学内検定の中止の問い合わせが多い。会議は全員マスク着用となった。〈了〉

以上